

丹沢大山国定公園

指定書 及び 公園計画書 (環境省原案)

平成 年 月 日

環境省

丹沢大山国定公園

指 定 書

目 次

1	指定理由	1
2	地域の概要	2
	(1) 景観の特性	2
	ア 地形、地質	2
	イ 植生・野生生物	2
	ウ 自然現象	3
	エ 文化景観	3
	(2) 利用の現況	4
	(3) 社会経済的背景	4
	ア 土地所有別	4
	イ 人口及び産業	4
	ウ 権利制限関係	5
3	公園区域	6

1 指定理由

丹沢大山国定公園は、神奈川県北西部に位置する丹沢山地の中核部分からなり、東西約24km南北約16kmにわたり、4市2町1村にまたがる地域で、標高1,672.6mの蛭ヶ岳を最高峰とするいわゆる丹沢山地のほぼ全部と、その山ろくの一部を包含する地域である。本地域は、おおよそ中央部、東部及び西部の三つに分けることができる。

中央部丹沢は東は中津川上流布川とヤビツ峠を経て金目川を結んだ線と、西は道志川上流の神ノ川と犬越路峠を経て酒匂川上流河内川（中川川）を結んだ線に挟まれた地域で塔ノ岳（1,491.2m）から丹沢山（1,567.1m）、蛭ヶ岳（1,672.6m）を経て焼山（1,059.6m）に続く丹沢主脈と、蛭ヶ岳から檜洞丸（1,601.2m）を経て犬越路に続く丹沢主稜からなっている。東部丹沢は、大山（1,251.7m）を盟主として布川と小鮎川の間介在する辺室山（644.8m）、三峰山（934.6m）の山系がこれに属する。西部丹沢は、河内川（中川川）、神ノ川の西の部分で、大室山（1,587.6m）、加入道山（1,418.4m）、畦ヶ丸（1,292.6m）、屏風岩山（1,051.6m）、権現山（1,018.8m）の山系がこれに属する。

丹沢山地は比較的狭い範囲であるが、アルプスやヒマラヤの山脈が作られたような造山運動の過程を踏んでできた地質的にまとまりのある地域である。

丹沢山地はフィリピン海プレート上の海底火山に起源があり、約1,500万年前の火山活動により厚さ10,000mに及ぶ地層を形成していた。約550万年前には本州に現在の丹沢にあたる部分が接続し、続けて約100万年前には丹沢の南に現在の伊豆半島にあたる部分が接続、半島が形成された。伊豆半島の圧力を受けた丹沢山地は大きく隆起した後、侵食作用を受けて今に至っている。

そのため、地形は低山の割に急峻で複雑な様相を呈し、水系もまた複雑で河川の支沢は稜線近くまで入り込み、数多くの沢を形成するとともに特異な山塊の崩壊地形を形成している。また、都心からわずか数十kmしか離れていないにもかかわらず、ブナやモミの自然林、ニホンカモシカやツキノワグマなどの大型野生動物、多くの滝を擁する深い渓谷など、豊かな自然と景観を有している。さらに、「大山詣り」として有名な阿夫利神社は山麓の宿坊も含めて昔に近い姿を今に伝えている。

これらのことから、丹沢山地及びその山ろくの一部を、構造山地を風景形式とする丹沢大山国定公園に指定し、造山活動による複雑な地形地質及び入り組んだ水系、豊かな自然の象徴であるブナ林が育む多様な生物、古来からの山岳信仰地等の景観要素からなる風致景観を保全するとともに、「ブナと渓谷の山岳景観と山岳信仰の丹沢大山国定公園」をテーマとして適切な利用の推進を図るものである。

2 地域の概要

(1) 景観の特性

ア 地形、地質

丹沢山地は比較的狭い範囲であるが、アルプスやヒマラヤの山脈が作られたような造山運動の過程を踏んでできた地質的にまとまりのある地域である。

今から1,500万年以上前、海底火山の活動による噴出物の堆積、沈降、そしてしゅう曲が起り、基底部は地下の深い所で高い温度や圧力を受け、変性したり、溶けたりして、マグマはまわりの岩石に影響を与えながら移動し、やがて浅い部分に昇ってきた。このマグマは石英閃緑岩が主である。これに接する塔ノ岳亜層群、大山亜層群はこの圧力と熱によって結晶片岩、ホルンフェルス等の変成岩に変わった。その後の海底の隆起それに続く侵食により周辺に火山噴出物を含む愛川層群、西桂層群等の地層が形成された。このため、丹沢の地層は大きく大山亜層群、この変成岩、以上二層の侵食によってもたらされた愛川層群等の堆積岩の三つに分けることができる。

地形は低山の割に急峻で複雑な様相を呈し、水系もまた複雑にして河川の支沢は稜線近くまで深く入り込み数多い沢を形成して丹沢山地の特徴となっている。

イ 植生・野生生物

丹沢山地の中核をなす蛭ヶ岳を中心とする海拔700～800m以上の地域はブナを主とする自然林が多く、ブナクラス域に含まれている。丹沢山、檜洞丸、大室山、加入道山等のブナ林域は丹沢を特徴づける植生である。

これ以下はヤブツバキクラス域で、本来は、常緑広葉樹林域であるが、ほとんど人間の開発の手が入り、二次林またはスギ・ヒノキの植林地となっており、自然植生は大山南斜面や札掛の一の沢学術考証林などごく限られた場所だけ見られる。

また本公園の特別地域において採取及び損傷等を規制する指定植物は、スギラン、ヒモカズラ、イワヒバ、ヒメハナワラビ、イナイノデ、ハコネトリカブト、ヒメイワカガミ、イワナンテン、シロヤシオ、イワタバコ、サガミジョウロウホトトギス等46科221種であり、昭和56年3月23日に指定した。

丹沢山地においては、これまでに維管束植物で1,627種、蘚苔類で452種、地衣類で158種、大型菌類で792種、微小菌類で約220種、哺乳類で38種、鳥類で247種、両生類・爬虫類では23種、淡水魚類で22種、昆虫類で7,779種、蜘蛛類で553種と非常に多くの種が確認されており、この中には、丹沢山地にしか生息生育しない種や国や県のレッドデータブックに記載された希少な種も多く含まれ、多様で豊かな自然環境を反映している。

丹沢に生息する大型哺乳動物の代表的なものとして、ツキノワグマ、ニホンジカ（以下「シカ」という。）、ニホンカモシカなどがあり、このうちシカは比較的数が多く、山行中にはしばしば見かけることができる。

シカは元来平野部から低山帯林を好むが、戦後の農地や市街地の拡大・狩猟解禁等の人間活動により、本来の生息地である平野部を追われ、現在は丹沢山地の山麓から山岳地を中心に分布している。その結果、林床植生の衰退とそれに起因する土壌流出や農林業被害など、自然環境や人間社会に様々な影響が見られる。特に高標高域や鳥獣保護区でシカの高密度状態が継続し植生の劣化が進行している。一方、シカ自身についても栄養状態の悪化などの影響が危惧されている。そこで、神奈川県は管理捕獲等による個体数調整・植生保護柵等による被害防除対策・森林整備等による生息環境整備・モニタリングによる対策効果検証の4つの手法により、シカの保護管理に取り組んできた。その結果、一部地域ではシカ密度の低下や植生回復の兆しが見られるようになって来ている。

このように本州産の大型哺乳類の全てが見られるほか、中小型哺乳類も多くの種類が生

息している。具体的には、イノシシ、キツネ、タヌキ、アナグマ、ノウサギ、テン、イタチ、サル、ムササビ、モモンガ、リス、ヤマネなど本州産の獣類のほとんどが生息している。

鳥類は、山頂付近ではビンズイ、ルリビタキ、ノビタキ、ウソなどの亜高山帯の種が見られる。その下限の鳥類を下限づけるものは、イカル、アオジ、ゴジュウカラ、コガラ、エゾムシクイ、センダイムシクイ、ヤブサメ、マミジロ、コルリ、コマドリ、アオゲラ、ツツドリ、コノハズクなどが繁殖期に見られる。

中腹では、カケス、イカル、ヒヨドリ、オオルリ、カワガラス、アカゲラ、ジュウイチ、ヤマドリなどのほか、ヤマセミ、アカショウビンなど溪流にすむ鳥類も見られる。

山麓では、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ムクドリ、スズメ、ホオジロ、キセキレイ、ツバメ、トビ、ノスリなどの鳥類が見られる。

ウ 自然現象

沢登りのメッカとして人気がある急峻で複雑な地形に深く切れ込んだ数多くの沢には多くの瀑布が見られる。また、泉温は低いが中川温泉をはじめ広沢寺、七沢などの温・鉱泉がある。

その他の自然現象としては、沿海部に山地が位置することから温暖で雨が多く、特に標高1,400m以上は海からの風が山体にぶつかり雲霧が発生しやすい。

エ 文化景観

古来より山岳宗教の対象として有名な、大山阿夫利神社があげられる。東部丹沢に位置する大山（1,251.7m）にあり、正確な創建年代は明らかではないが、社伝によると755年に不動堂が建立された後、既に存在していた神社と合わせて「雨降山大山寺」として以来、真言修験道場として有名になった。以降、鎌倉・室町・徳川の各幕府からの崇敬は厚く、また雨降りの神として農村間によく知られ、南関東一帯の信仰を集めるようになった。江戸時代からは一般にも厚く敬われるようになり、石尊参り或いは大山詣りといって、約70万軒の檀家が毎年1回大山へ農林水産業や商工業の繁盛祈願のために参詣していた。

さらに、相模湾を航行する船舶からもこの山は良く見えるので、船の位置を知る目印として利用され、海上生活者の信心を集めた。

その後、明治期の神仏分離により現在の阿夫利神社と呼ばれるようになり現在に至っている。大山中腹に下社が、頂上には本社・奥社・前社が祀られており、参拝者は今もなお関東各地から集まる。秋期例大祭には、白衣姿の信者の登山参拝者が非常に多く、その参道の途中には先導師の宿坊が軒を連ねている。こうした信仰風俗を今に残す神社は全国的にも数少なく、昔に近い姿を留めているのは当神社のみである。

その他、塔ノ岳、不動ノ峰、大室山頂の権現、蛭ヶ岳の薬師寺には、山岳仏教徒の修行場とされた跡がある。

また、国指定の天然記念物として、地元の山北町箒沢の「箒スギ」が有名である。樹形が箒に似ていることからこの名称があるとも云われており、県下の巨樹として有数のもので、胸高約12m、根廻り約18m、高さ約45mの大きさで、推定樹齢も県下最高齢の約2000年とされている。また、この「箒スギ」は大火と土砂崩れという2度の災害から付近の住民を守った経緯があり、地元の人々から大切にされている。

(2) 利用の現況

平成23年の年間利用者数は、191万人である。利用者数は統計を取り始めた昭和46年以降、約200万～300万人台で推移し、平成に入ると400万人を超え、平成4年には451万人を

記録した。以降は約200万～400万人の間で推移しており、首都圏民の主要な野外レクリエーションエリアとして利用されている。

利用形態としては、大山阿夫利神社参拝を兼ねた大山登山、丹沢山地周辺の山々の軽登山、沢歩き、そして丹沢主脈をはじめとする本格的な登山である。特に多いのは、登山初心者の若者や家族・グループ単位のハイキング及び自動車を利用したオートキャンプであり、最近の登山ブームの影響からか、鉄道やマイカーを利用して日帰り登山を楽しむ人が増加している。

(3) 社会経済的背景

ア 土地所有別

本公園の区域内の所有別面積は、国有地2,159ha（7.8%）、公有地14,628ha（53.1%）、私有地10,785ha（39.1%）となっており、公有地及び私有地の占める割合が大きい。

イ 人口及び産業

本公園区域に係る4市2町1村の人口及び世帯数は、次のとおりである。
（平成25年1月現在）

市町村名	世帯数（戸）	人口（人）
相模原市	309,626	720,111
秦野市	70,585	169,925
厚木市	94,373	224,924
伊勢原市	41,928	100,945
松田町	4,486	11,570
山北町	3,934	11,274
清川村	1,174	3,337

1965（昭和40）年には約440万人だった神奈川県は、2013（平成25）年1月現在900万人を超えている。7市町村の人口は1965（昭和40）年では約35万人であったが、2013（平成25）年には約120万人となっている。人口推移を見ると、相模原市、秦野市、厚木市、伊勢原市など大都市に近い市では人口が増加傾向にある。一方、山北町、松田町、清川村の人口は、減少もしくは横ばいの傾向にある。また、この3町村の人口に占める65歳以上の割合は25%以上であり、県全体の20%という数字を上回っており、高齢化の傾向も示している。

本地域の産業は、本地域が本県で最も急峻な丹沢山地を中心とした地域であるため、以前は林業が主たる産業であったが、社会情勢の変化により生業としての林業は成立しにくくなっている。

農業は、本地域の山麓部から平坦部にかけて行われているがきわめて小面積であり、その生産物も地区により多種多様で、秦野市のカーネーションやバラなどの花き、伊勢原市のぶどうやなしなどの果樹類、山北町のお茶などの生産がみられるが、いずれもこの地域内では小面積であり、近年ではこのような条件の不利な地域で耕作放棄地が増加している。

ウ 権利制限関係

(ア) 保安林

種 類	位 置	重複面積	指定年月日
土砂流出防備・ 土砂崩壊防備	神奈川県相模原市、秦野市、厚木市、伊勢原市、松田町、山北町、清川村地内	22,540ha	大14. 5. 28他
水源かん養	神奈川県相模原市、秦野市、伊勢原市、山北町、清川村地内	805ha	明45. 4. 21他

(イ) 鳥獣保護区（県指定）

名 称	位 置	重複面積	当初指定年月日
丹沢大山 鳥獣保護区	神奈川県相模原市緑区、秦野市、厚木市、伊勢原市、足柄上郡松田町、同山北町、愛甲郡清川村地内	15,786ha	昭58. 11. 1

(ウ) 史跡名勝天然記念物

天然記念物（国指定）

名 称	位 置	指定年月日
箒 ス ギ	神奈川県足柄上郡山北町地内	昭9. 3. 26

天然記念物（県指定）

名 称	位 置	指定年月日
宝城坊の二本杉	神奈川県伊勢原市地内	昭30. 11. 1
大山の原生林	神奈川県伊勢原市地内	昭47. 10. 15
丹沢札掛のモミ林	神奈川県愛甲郡清川村地内	昭48. 12. 21
西丹沢の董青石、ベスブ石 及び大理石	神奈川県足柄上郡山北町地内	昭50. 2. 7

3 公園区域

丹沢大山国定公園の区域を次のとおりとする。

(表1：公園区域（陸域）表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
神奈川県	相模原市緑区 大字青根字大前、字上裾野、字神ノ川入口、字神ノ川絵瀬沢、字神ノ川小洞、字神ノ川蛭ヶ岳仏谷東、字神ノ川椴皮沢、字神ノ川矢駄沢、字京田、字社宮司、字背野原、字高瀬野、字長者舎、字長者舎大谷及び字天沢端の全部並びに字荒井道上字上野山、字後山、字音久和、字上青根、字駒入原、字下裾野、字下山、字糖又、字橋津原、字平丸、字八重石及び字横山の各一部 大字青野原字青野尾、字猪ノ窪、字大津門、字湊沢、字三ノ谷、字西野丸及び字焼山の全部並びに字大石窪、字梶ヶ原、字上ヶ谷戸及び字水沐所の各一部 大字鳥屋字松茸山の全部及び字奥野の一部	6,725
	秦野市内 国有林東京神奈川森林管理署神奈川森林計画区159林班から164林班までの全部 秦野市内 上秦野県有林1林班の全部 秦野市 大字小蓑毛字石休場、字大久保、字水神入、字二枚畑ヶ、字光ル及び字横畑の全部 大字寺山字旭山、字後熊ヶ谷、字大久保、字奥地獄沢、字奥水沢、字風越、字上カスコロハシ、字上熊ヶ谷、字上地獄澤、字倉骨、字護摩屋敷、字桜久保、字寒沢、字下熊ヶ谷、字下地獄澤、字城山、字陣賀、字鷹採、字鹽小屋、字タレスリ、字槻沢、字中熊ヶ谷、字中地獄澤、字中水沢上、字中水沢下、字西山玉野、字西山八丁、字西山四ヶ原、字西山六本松、字羽風、字東門戸口、字深沢、字藤瘤、字仏沢、字前熊ヶ谷、字前地獄沢、字前水沢ノ中、字水干、字門戸口、字ヨモキタイラ及び字来迎谷の全部並びに字西山大窪及び字西山餅畑の各一部 大字戸川字宇津木河原、字行者山、字古大日山、字猿渡、字新大日山、字大門及び字ヒゴウ山の全部 大字西田原字金堀の全部並びに字大平の一部 大字羽根字上入の平及び字上中丸の全部	

都道府県名	区 域	面積 (ha)
神奈川県	大字東田原字花開戸の一部 大字堀西字大久保の全部 大字堀山下字一の沢、字大久保、字大沢、字大端、字金冷し、字亀の尾、字久保附、字源二郎、字小草平、字曾我屋敷、字椀沢、字寺屋敷、字塔之尾、字流し、字日中坂、字子の神沢、字深沢、字本沢及び字山の神の全部並びに字平戸の一部 大字菩提字洗沢、字岩の台、字大音沢、字大平、字鍛冶屋畑、字カラキゴ、字小玄台、字桜沢、字三の塔、字千軒台、字滝ノ沢、字テシロゴ、字堂屋敷、字節抜及び字二俣の全部並びに字岩の下、字間添及び字向山の各一部 大字三廻部字後山、字鳥端、字源蔵畑、字源蔵畑上、字須藤釜、字長尾、字丸山及び字山之神戸の全部並びに字上河原、字唐沢岳、字桐ヶ久保及び字向唐沢の各一部 大字蓑毛字御坂、字柿平、字上川原、字笹尾尻、字尻無、字諏訪入、字樽附、字堂山、字野多場、字波根床、字春嶽、字平畑、字間藤、字元宿、字芳原及び字瀧口入の全部 大字横野字牛首、字大杉、字釜の沢字鳥尾、字権現沢、字萩山、字東平、字旭向、字屏風岩及び字文六の全部	※3,938
	厚木市 大字七沢字一ノ足沢、字大河原、字大沢、字大平、字奥大沢乙、字奥大沢甲、字奥山、字亀石、字見城、字二ノ足沢、字前河原、字南沢及び字谷戸の全部	871
	伊勢原市 大字大山字閼加水、字赤松、字上り山、字阿扶利山、字池久保、字石洗坂、字石切場、字稲荷町、字入ノ川、字恵日山、字荻平、字大入、字大岩、字扇平、字開山町、字影取、字鐘ヶ嶽、字点頭、字壁土山、字竈場入、字栗川、字黒岩、字五平、字駒ヶ滝、字西河原、字坂本町、字坂本山、字桜山、字山王台、字慈雲山、字清水入、字下池久保、字新山、字誓正山、字石尊山、字浅間山、字相頓寺入、字立石、字堂山、字秦ノ沢、字福永町、字袋町山、字ブナバラ、字別所町、字宝珠山、字松木平及び字丸山の全部 大字子易字イヨリ、字大阿良久、字笹山及び字ヤセオの全部並びに字大和田及び大字大山の内大字子易の飛地の各一部	

都道府県名	区 域	面積 (ha)
神奈川県	大字日向字一ノ沢、字一ノ瀬、字入野山、字岩下、字梅ヶ尾、字梅ノ木、字大山沢、字奥善内寺、字尾高、字鍵掛、字上北原、字御所ノ入、字佐須、字寒沢、字三ノ沢、字下門前、字常慶山、字明神、字堰、字善内寺、字鎮守山、字天神平、字畑、字引地、字日向山、字屏風沢、字鶴、字藤野谷戸、字藤原端、字淵ノ上、字弁天、字防中及び字南大山沢ノ全部並びに字上藤野及び字横道の各一部	1,211
	足柄上郡松田町 大字寄字53番、字54番、字55番、字58番、字59番、字60番、字61番、字62番、字63番及び字135番の全部並びに字57番、字137番及び字138番の各一部	1,230
	足柄上郡山北町内 国有林東京神奈川森林管理署神奈川森林計画区143林班から158林班までの全部並びに142林班の一部 足柄上郡山北町内 三保県有林1林班から46林班までの全部 足柄上郡山北町 大字神尾田字尾崎、字小畑、字大仏向、字田の入、字田の入向、字野嵐及び字ヲソノの全部 大字神縄字小畑及び字野嵐の全部並びに字ヲキツチの一部 大字川西字平山の一部 大字玄倉字家の下、字大口、字大ノ山、字奥畑、字上畑、字玄倉川、字小畑平、字下畑、字竹ノ本、字立間、字中畑、字西川原、字日陰畑及び字向居沢の全部 大字中川字アセミノ木、字石堂ノ台、字板小屋、字上ノ原、字上ノ原台、字大小屋、字追出し、字源蔵、字源蔵上、字源蔵向、字号良、字号良道上、字越田、字小塚、字椎ノ木、字城山、字相馬沢、字大仏、字大仏上、字大仏向、字岳山、字戸屋、字ヌタノ平、字沼ノ沢、字西沢、字西沢台、字野尻、字登尾、字箱根屋、字畑、字東沢、字深田、字藤小屋、字箒杉、字細川、字細野、字ボテイ、字升小屋、字万田小屋、字ムジナ作、字峰山、字焼津、字焼津上、字焼野、字湯ノ上、字湯ノ沢、字和田及び字悪沢の全部 大字世附字荒井沢、字上ノ山、字大屋ノ沢、字権現山、字中畑下、字番ヶ平、字日影山、字方の口、字本村及び字峰山の全部並びに字栗ノ木平及び字栗ノ木日影の各一部	※9,728

都道府県名	区 域	面積 (ha)
神奈川県	愛甲郡清川村 丹沢県有林 1 林班から30林班までの全部 愛甲郡清川村 大字煤ヶ谷字板小屋、字枝尾、字大月、字大ノ沢、字 押出し、字小唐沢、字五葉松、字杉ノ沢、字丹沢山、 字火打沢及び字堀切の全部 大字宮ヶ瀬字金沢、字滝ノ沢、字丹沢山及び字ヒル沢 の全部並びに字釜田川及び字猿島の各一部	3,869
	合 計	27,572

※注) 平成20年2月18日付指定書及び公園計画書と値が異なるが、再計測の上適切な値を示した
もの。